

褒賞

学院長賞・理事長賞・師範会賞・特選・秀逸・褒状・漱石記念賞

全部門、各クラスにて、出品者全員に賞状を贈呈いたします。支部団体出品の方は、代表者宛てに賞状をお送りいたします。

8月末日までに未着の際には事務局までお問い合わせください。

上位賞受賞の方は、2027年の第48回日本書道学院展にて展示し、授賞式を行います。

結果発表

7月末日に日本書道学院ホームページに結果一覧を発表いたします。合わせて結果通知を郵送いたします。8月初旬に結果通知が未着の際には事務局までお問い合わせください。支部団体出品の場合、代表者宛てにお送りいたします。

上位賞受賞作品は、「書の光」9月号(8月25日発行)に掲載いたします。



出品票

下記出品票を1作品に1枚はりつけずに同封してください。作品裏に鉛筆で氏名を書いてください。

- ※1 出品部門に☑を入れてください。
- ※2 特～Dクラスを記入してください。

第4回書道小作品展出品票

氏名	フリガナ	雅号	
部門 ※1	<input type="checkbox"/> 漢字部 <input type="checkbox"/> 調和体部 <input type="checkbox"/> かな部 <input type="checkbox"/> 実用書部	クラス ※2	
住所	〒 -		
電話番号			
支部		受付番号★	

第4回書道小作品展出品票

氏名	フリガナ	雅号	
部門 ※1	<input type="checkbox"/> 漢字部 <input type="checkbox"/> 調和体部 <input type="checkbox"/> かな部 <input type="checkbox"/> 実用書部	クラス ※2	
住所	〒 -		
電話番号			
支部		受付番号★	

第4回

日本書道学院 小作品展

作品募集

テーマ“漱石を書く”

第4回目となる小作品展を開催いたします。今回は、夏目漱石没後110年を記念して、“漱石を書く”をテーマに、漢字・かな・調和体・実用書の4部門に自由に表現してご出品ください。(実用書部はテーマ自由、年賀状、暑中見舞い、季節の挨拶状も可) 東京・早稲田には新宿区立漱石山房記念館があり、日本書道学院と縁があります。出品作品は、日本書道学院ホームページ特設サイトにて発表いたします。優秀作品は、「書の光」誌面に掲載、第48回日本書道学院展にて展示いたします。ぜひご出品ください。



- **募集期間** 6月8日(月)～6月19日(金)
- **出品料** 特クラス 2,420円(税込)、A～Dクラス 1,650円(税込) ※複数部門に出品可。同一部門同クラスに複数出品も可。出品料は作品の料金です。複数出品の際は点数に応じてご請求。7月末日に結果通知とともに払込用紙をご郵送いたします。支部団体出品の場合、8月10日(月)発行の支部明細書にてご請求いたします。
- **出品クラス** 「書の光」4月号成績【漢字部・かな部・調和体部・実用書部】の段級位をもとに下記クラスにご出品ください。

特クラス	……	師範会役員(理事以上)
Aクラス	……	師範 Cクラス …… 三段～初段
Bクラス	……	準師範～四段 Dクラス …… 級位・未取得
- **作品寸法** ハガキサイズ(148×100mm) 半紙不可。やや厚みのある用紙でご出品ください。(厚みの目安:官製はがきの厚み) 下記用紙を事務局にて販売いたします。薄い用紙の場合は裏打ち推奨。

39-299	ハガキ出品用紙 20枚 参考手本付き	380円	送料無料
30-031	開明裏打用紙半紙厚口(10枚入)	935円	送料440円

※アイロンで手軽に裏打ちができます。
- **出品先** 〒162-8717 東京都新宿区早稲田町5-4 日本書道学院 小作品展係 (宅配便利用の場合、〒162-0042とご記入ください) 出品票は1作品に1枚必要です。作品と出品票を合わせてご提出ください。コピー可。(出品票は、5月号・6月号にも掲載いたします) 支部団体出品の場合、出品者名簿も併せてご提出ください。支部団体出品の方は、団体出品規定・名簿を事務局までご請求ください。 ※出品作品は返却いたしません。 ※応募作品の著作権は出品者に帰属しますが展示および作品集、広報宣伝の使用権は主催者に帰属します。

【お問い合わせ先】日本書道学院 事務局
 〒162-8717 東京都新宿区早稲田町5-4 日本書道学院 展覧会係
 TEL 03-5273-7615 (平日10時～17時) FAX 03-5273-7644 Eメール jimukyoku@gakubun.co.jp

参考作品

テーマ「漱石を書く」にそった作品を制作してください。実用書部は、課題自由です。(漢字部・かな部・調和体部)

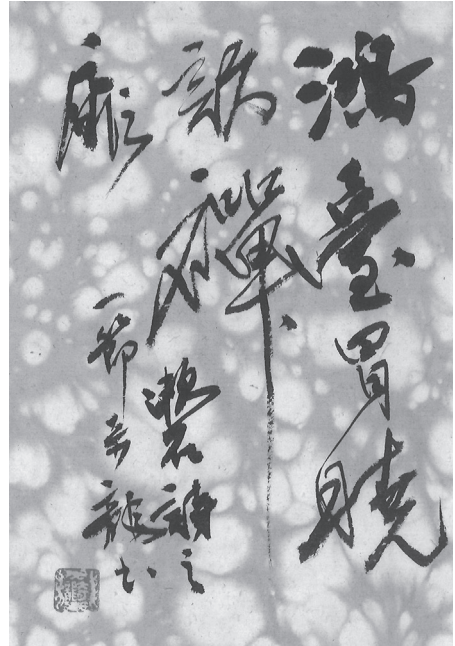
■漢字部



二宮奇龍学院長

※ 91 頁参考文参照

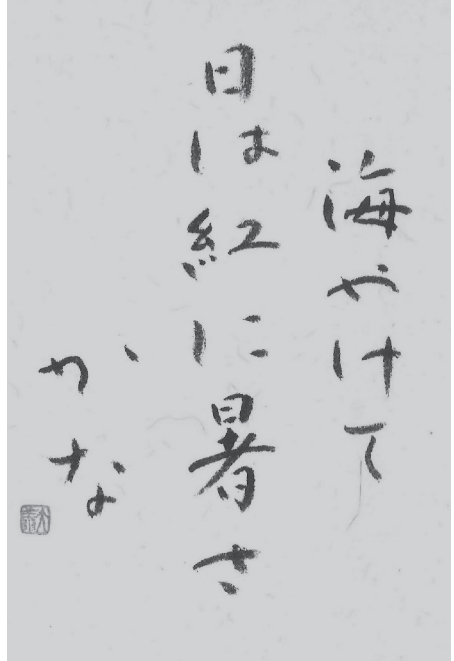
■漢字部



二宮奇龍学院長

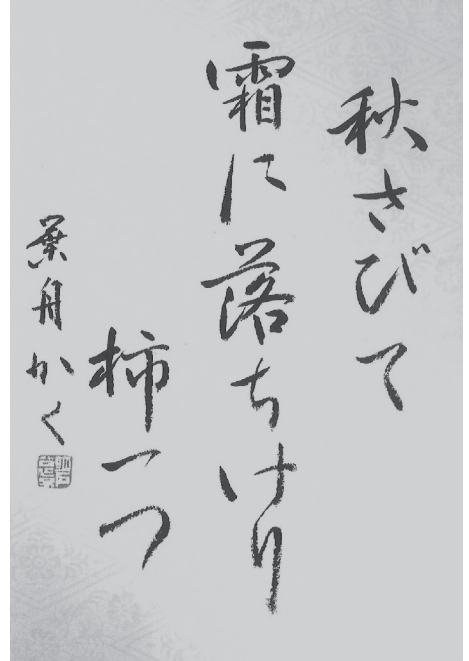
※ 91 頁参考文参照

■調和体部



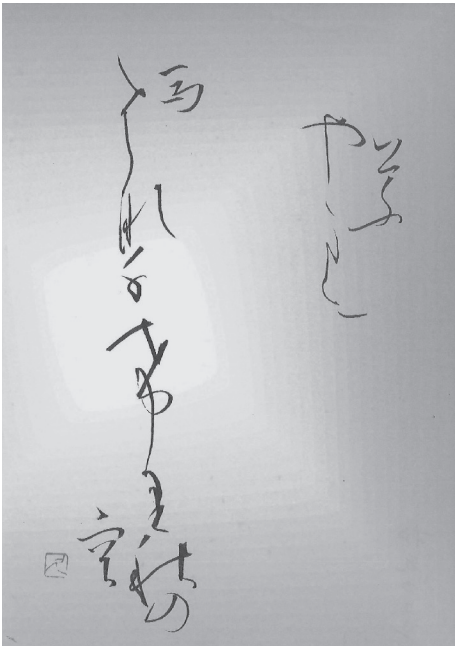
加藤大翔副学院長

■調和体部



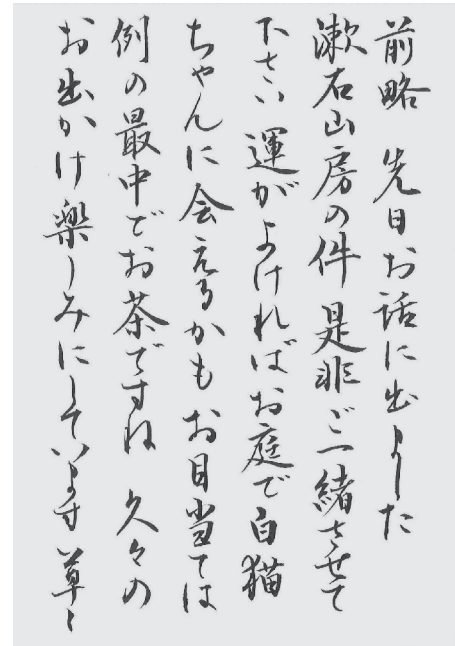
明石葉舟常任理事

■かな部



柩元華園常任理事

■実用書部



四季茜歩理事

参考文

参考手本以外に左記の参考文も作品の題材としてご利用ください。もちろん、ご自身で漱石の漢詩、俳句等をお調べいただき、お書きいただいても、一字・二字作品、多字作品等、自由に書いてください。

漢字部

参考手本以外の5字、10字からの選文も可。

- ・無題 ・正岡子規の「送^三夏目漱石^ノ之^二伊予^ニ」に対する漱石の返し歌(詩)
- 海南千里遠 欲別暮天寒 海南 千里遠く 別れんと欲すれば暮天寒し
- 鉄笛吹紅雪 火輪沸紫瀾 鉄笛 紅雪を吹き 火輪 紫瀾を沸かす
- 為君憂国易 作客到家難 君の為に国を憂うるは易く 客と作つて家に到るは難し
- 三十巽還坎 功名夢半残 三十巽還た坎 功名 夢半ば残す
- ※子規の贈った詩と同じ韻字(寒・瀾・難・残)を用いて返した。これを次韻いいます。
- ・鴻台(明治十六年・漱石十七歳時の詩) 参考手本

鴻台冒曉訪禪扉

鴻台 暁を冒して禪扉を訪ふ

狐磬沈沈断続微

狐磬沈沈 断続して微かなり

一叩一推人不答

一叩一推 人答へず

驚鴉撩乱掠門飛

驚鴉撩乱して門を掠めて飛ぶ

(鴻台は国府台(下のたい)下総国府の在所の雅称である。)

かな作品

出典＝東京堂出版・俳句編

- ・ほのほのと舟押し出すや蓮の中
- ・木蓮に夢のやうなる小雨哉

調和体作品

- ・春雨や寝ながら横に梅を見る
- ・赤き日の海に落ち込む暑かな
- ・五月雨や小袖をほどく酒のしみ

実用書作品

- ★実用書部は課題自由です。
- 夏目漱石にとらわれずにお書きください。
- ・暑中見舞い
- ・年賀状